令和７年度 決算報告

令和７年度の各会計の決算が、令和８年第５回市議会定例会で認定されました。令和７年度の決算を振り返り、市民のみなさんに納めていただいた税金や、国または県からの収入がどのように使われたのか、一般会計を中心にわかりやすくお伝えします。

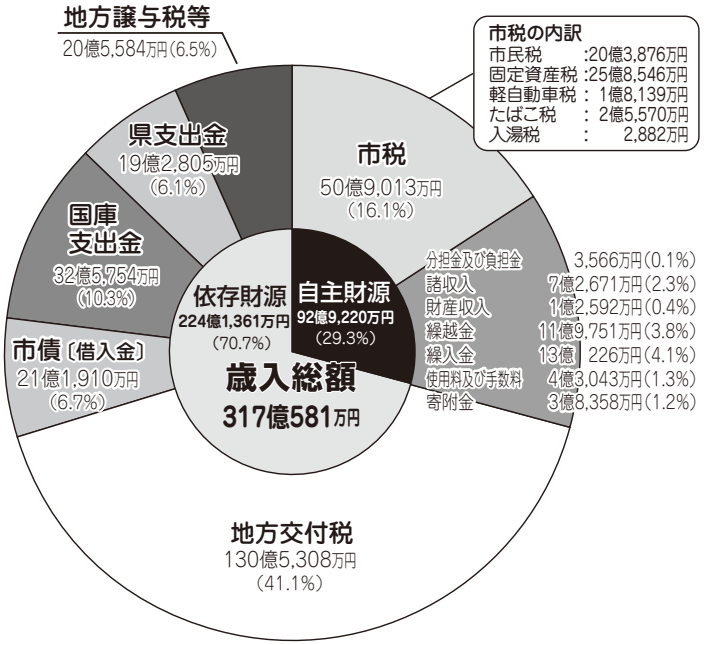
令和８年４月１日時点　人口：36,515人

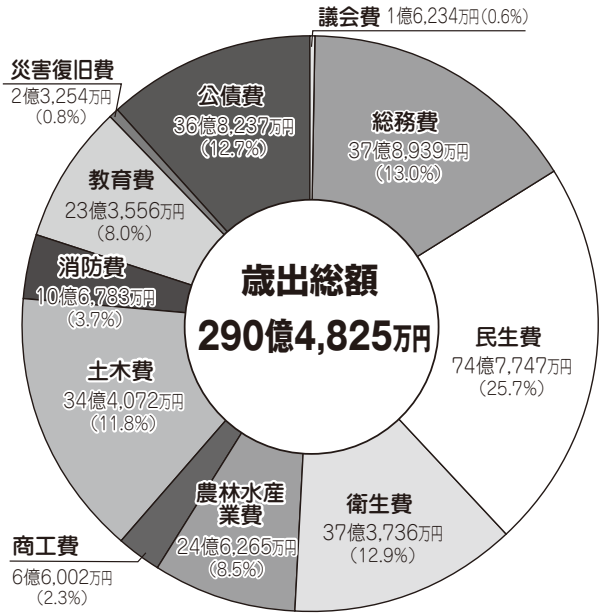
一般会計

●市の基本的な行政運営を行うための会計
歳入：市に入ったお金　　歳出：市が使ったお金　　※（　）内は総額に占める割合

歳入総額		歳出総額		令和８年度へ		実質収支額
317億581万円	−	290億4,825万円	−	8,988万円の繰越	＝	25億6,768万円
前年度比 6億4,106万円の減		21億111万円の減				

※うち12億8,400万円について財政調整基金へ積立てを行いました





★市民１人あたりに換算すると…

歳入（収入）	86万8,295円
歳出（支出）	79万5,516円

郡上市の行政サービスは、税収だけでは自治体運営を行うことが困難なため、国から交付される地方交付税や国または県からの収入などを活用して提供しています。

★市民１人あたりの市税及び歳出の内訳

【市税】

市民税	固定資産税
5万5,833円	7万　805円
軽自動車税	たばこ税
4,968円	7,003円
入湯税	
789円	

【歳出】

議会費	総務費	民生費
4,446円	10万3,776円	20万4,778円
衛生費	農林水産業費	商工費
10万2,351円	6万7,442円	1万8,075円
土木費	消防費	教育費
9万4,228円	2万9,244円	6万3,962円
災害復旧費	公債費	
6,368円	10万　845円	

用語解説

●議会費：議会の活動に要する経費、議員の報酬や委員会の運営費
●総務費：全般的な管理事務、財政や財産管理に関するものや地域振興に使った経費
●民生費：社会福祉、障がい者、高齢者、児童福祉、生活保護などに使った経費
●衛生費：市民の健康管理やごみ処理などに使った経費
●農林水産業費：農業や林業、水産業の振興に使った経費
●商工費：観光や商工業の振興に使った経費
●土木費：道路や橋、河川砂防、土木関連に使った経費
●消防費：消防施設や消防団運営に使った経費
●教育費：学校教育や社会教育などに使った経費
●災害復旧費：災害によって生じた被害の復旧に使った経費
●公債費：借入金返済や利子の支払いに使った経費

郡上市の家計簿 （年収 500 万円の家計に例えた場合の分析）

収 入

項　　目	R７	前年度比
給料（市税）	80万円	＋ 3万円
副収入（使用料、手数料など）	27万円	▲ 4万円
親からの仕送り（地方交付税、国庫支出金など）	320万円	▲ 8万円
ローンの借入（地方債）	33万円	▲ 1万円
貯金の取り崩し（繰入金）	21万円	0万円
前年からの繰越（繰越金）	19万円	0万円
収入合計	500万円	▲ 10万円
貯金額	82万円	▲ 12万円

支出

項　　目	R７	前年度比
食費（人件費）	78万円	＋ 3万円
家族の医療費・介護費（扶助費）	63万円	＋ 5万円
光熱水費などの生活費（物件費）	63万円	▲ 3万円
住宅や車の購入費・修理代（普通建設事業・維持補修費）	76万円	▲ 21万円
子どもへの仕送り（補助金･繰出金）	106万円	0万円
ローンの返済（公債費）	58万円	＋ 2万円
知人への貸付（貸付金･出資金など）	8万円	▲ 5万円
未払い金（R８年度中に支払い予定）	1万円	▲ 1万円
貯金（積立金）	8万円	▲ 13万円
支出合計	461万円	▲ 33万円
翌年度への繰越し（繰越金）	39万円	＋ 23万円
ローン残高	395万円	▲ 23万円

★令和７年度の郡上市の家計は…

私たちの支出 500 万円のうち約 20%（107 万円）は給料（市税）や副収入（使用料･手数料）で賄われています。不足分は、親からの仕送り（地方交付税や国庫支出金など）やローンの借入（地方債）を有効に活用することで、市民サービスの充実に努めています。また､現在のローン残高は 395 万円で､前年度と比べて 23 万円減少しました。この結果、ローン依存度が改善され、より健全な家計へと着実にシフトしています。

令和７年度に実施した主な事業

まちづくり・地域振興

商業振興イベント開催支援事業
事業費 600万円



東海北陸自動車道の沿線地域等との交流を図るため、「食の祭典」に代わり郡上の若者が企画・運営した大規模マルシェイベント「ミチトキテン」の実行委員会に対し、開催費の支援を行いました。

子育て・環境

保育園施設整備事業
事業費 １億2,113万円



明宝保育園は、土砂災害警戒区域に位置する安全上の課題を解消するため、明宝中学校の校舎の一部を改修して移転しました。保育と教育の新たな複合化施設としてスタートしました。

健康・福祉

高齢者買い物安心サポート事業
事業費 290万円



移動販売を行っている市内事業者の運営支援および新規開業者の車両購入支援を行い、高齢者の日常生活の利便性向上に取り組みました。

その他の主な事業

【まちづくり・地域振興】
- 若者プロジェクト推進事業　500万円

【教育・文化・人づくり】
- 社会教育施設整備事業　5,518万円
- 高校生通学・下宿支援事業　1,832万円
- シン・郡上学推進事業　2,494万円
- 小学校統合整備事業　4,161万円

【環境・防災・社会基盤】
- 消防施設整備事業　１億　167万円
- 現年発生補助災害復旧事業（公共土木施設）　4,019万円

【健康・福祉】
- 医師等確保対策事業　1,075万円
- 郡上偕楽園移転整備事業（繰越含む）　1,867万円
- おむつのサブスク推進事業　577万円

【産業・雇用】
- 新世代住まい応援事業　1,878万円
- 森林経営管理事業（繰越含む）　１億6,781万円

【物価高騰支援】
- 燃料購入支援事業　9,538万円

特別会計・企業会計

●市が特定の収入で運営する事業のために設けられた会計（特別会計）
●民間企業のように収益によって運営を行う会計（企業会計）

特別会計

名　　称	歳　　入（A）	歳　　出（B）	差引額（A－B）
国民健康保険特別会計	46億2,846万円	45億5,865万円	6,981万円
国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）	3億4,839万円	3億2,820万円	2,019万円
介護保険特別会計	48億5,235万円	47億4,420万円	1億　815万円
介護サービス事業特別会計	8億3,801万円	7億7,091万円	6,710万円
駐車場事業特別会計	1,009万円	335万円	674万円
青少年育英奨学資金貸付特別会計	3,787万円	1,160万円	2,627万円
鉄道経営対策事業基金特別会計	245万円	245万円	0円
後期高齢者医療特別会計	7億8,450万円	7億6,794万円	1,656万円
小水力発電事業特別会計	7,586万円	7,586万円	0円
財産区特別会計	1億4,708万円	8,263万円	6,445万円

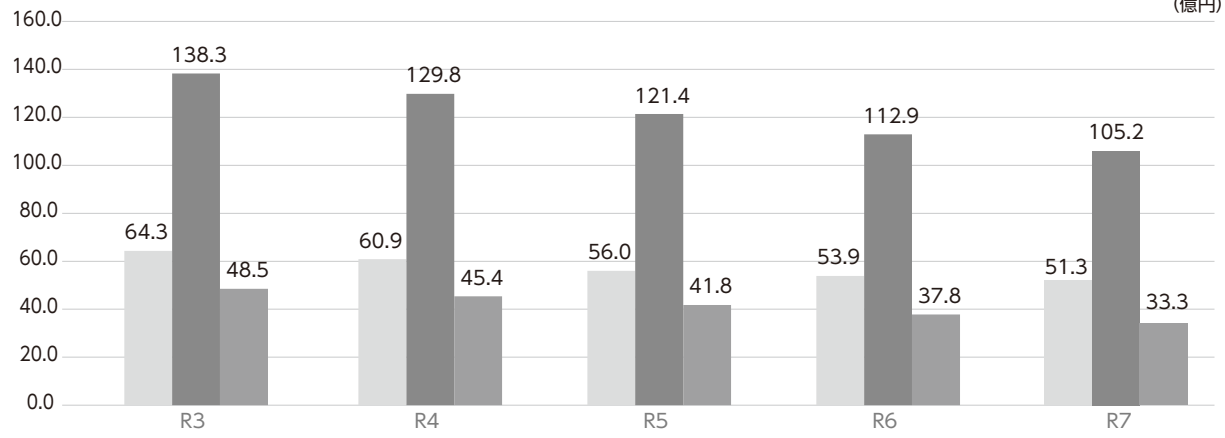
企業会計

名　　称		収　　入（A）	支　　出（B）	差引額（A－B）
水道事業会計	収益的収支	13億7,847万円	12億4,064万円	1億3,783万円
	資本的収支	6億　649万円	14億5,322万円	▲8億4,673万円
下水道事業会計	収益的収支	22億2,322万円	20億9,359万円	1億2,963万円
	資本的収支	8億1,013万円	15億2,797万円	▲7億1,784万円
病院事業会計	収益的収支	43億2,497万円	43億4,943万円	▲2,446万円
	資本的収支	1億2,527万円	5億8,960万円	▲4億6,433万円

※収益的収支：サービスの提供によって得られる料金収入と施設の管理運営に必要な費用
※資本的収支：施設の更新など支出の効果が複数年度に及ぶもの、企業債の償還などの支出とその財源となる収入

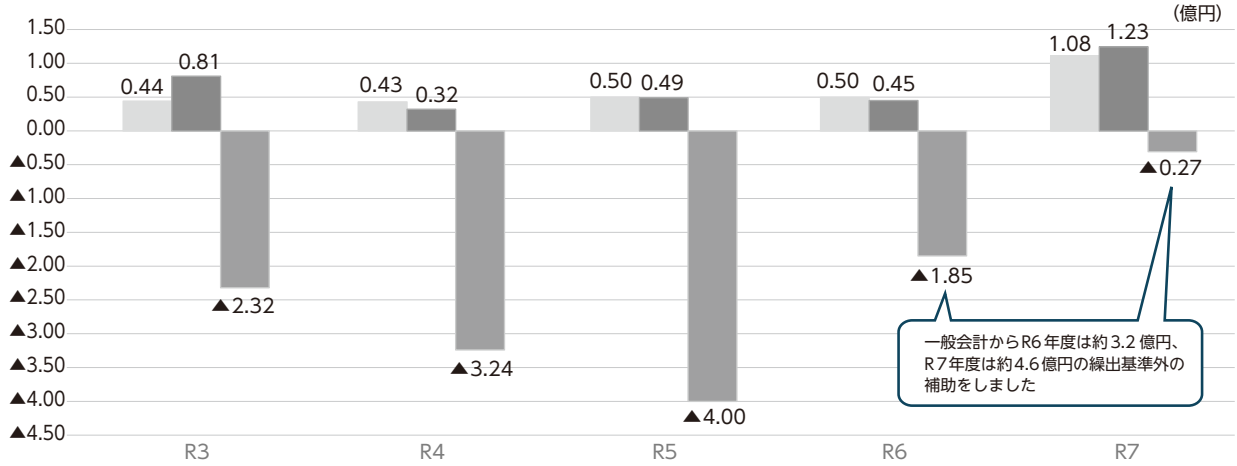
地方債残高の推移

※各年度左から水道事業・下水道事業・病院事業



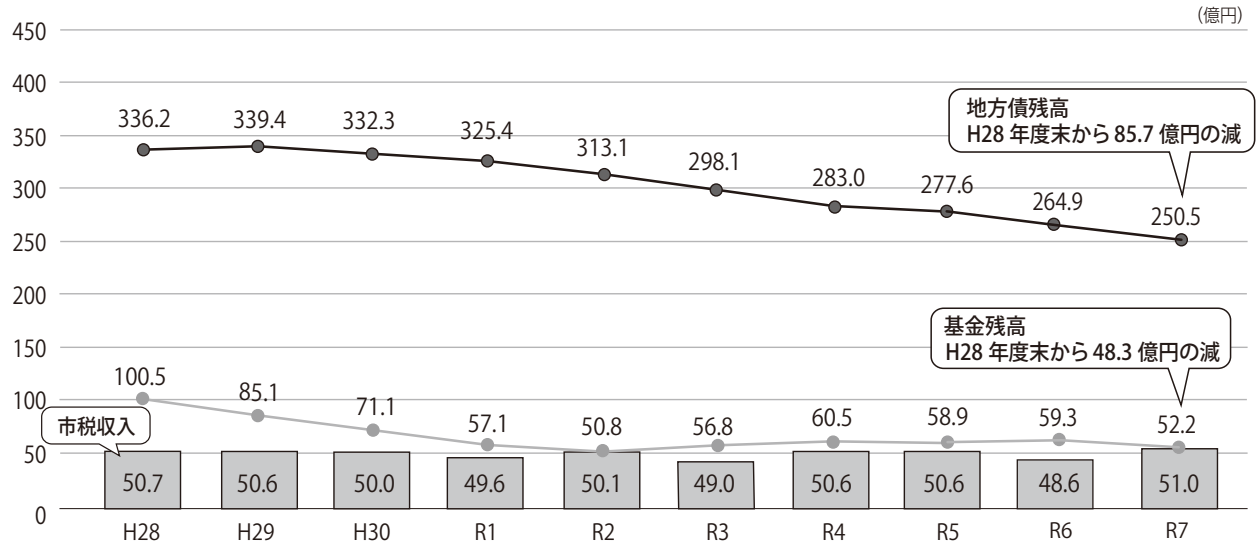
純損益の推移

※各年度左から水道事業・下水道事業・病院事業



※純損益は数値が高いほうが良く、収益性が高く経営効率が良いと判断されます

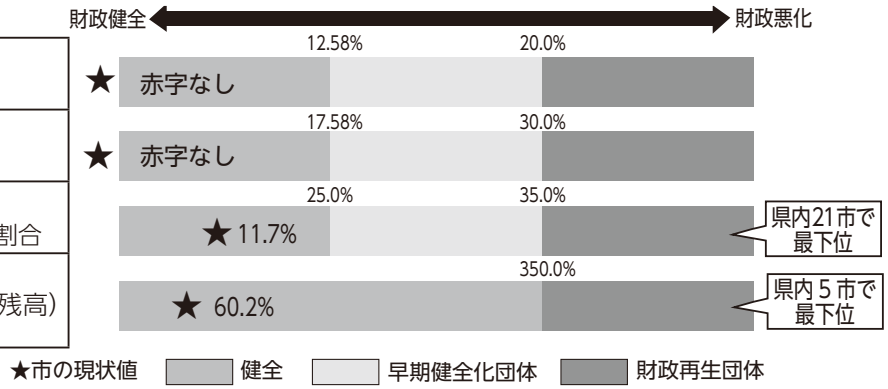
財財運営　地方債残高・基金残高・市税収入の推移



令和7年度末の地方債残高は250.5億円で、令和6年度末と比較して14.4億円減少しました。平成28年度末からの10年で85.7億円減少しており、計画的な借入と返済を進めた効果が表れています。一方、基金残高は令和6年度末と比較して7.1億円、平成28年度末と比較して48.3億円減少しており、厳しい財政状況となっています。市税収入は50億円前後で推移していますが、今後は人口減少の影響により市税が減少することが予想されます。これらを踏まえ、引き続き健全な財政運営を継続していきます。

財政健全化　郡上市の令和7年度決算を財政指標に基づいて診断すると…

財政指標	※速報値
実質赤字比率 一般会計を中心とした赤字の割合	
連結実質赤字比率 すべての会計の赤字の割合	
実質公債費比率 標準的な年間収入に対する借金返済額の割合	
将来負担比率 標準的な年間収入に対する借金（債務残高）の割合	



■健全化判断比率の見方

ポイント①　実質・連結赤字比率

毎月のお給料で生活できています。普通会計や、特別会計・企業会計を含めた全ての会計で「赤字」は発生しておらず、健全な財政運営を維持しています。

ポイント②　実質公債費比率

令和6年度より0.3ポイント上昇し、県内21市で2年連続ワースト1の数値となっています。これは、郡上市が広大な市域を持ち、多くの道路、橋、上下水道などの大規模なインフラ整備を担ってきたため、どうしても借金の負担が大きくなりやすいという郡上市の特性を反映しています。

ポイント③　将来負担比率

令和6年度より2.0ポイント上昇して60.2%となりましたが、健全な数値の範囲内です。しかし、将来の負担が生じている団体は県内21市のうち５市（令和６年度より）しかなく、その中でも郡上市が2年連続でワースト1となっています。子や孫に引き継ぐ「将来の借金」が多く残っています。

郡上市財政の健康診断結果　**要経過観察！　財政の「体質改善」が必要です！**

郡上市の財政は、国の基準で言うと「正常」の範囲内です。しかし、将来を見据えると、「生活習慣病の予備軍」のような状態です。郡上の未来のために、また、「子どもたちのための貯金」をしっかり残していくためにも、生活習慣を改善し、財政の「体質改善」を続ける必要があります。

問　財政課　67-1845